資料６

令和元年度
学校関係者評価報告書

令和元年７月

学校法人昭徳学園
九州動物学院

学校法人昭徳学園九州動物学院は、平成16年に設立され、学校法人化して3年となるところです。専修学校の学校評価につきましては、自己点検評価、学校関係者評価の実施・公表が謳われており、昨年度本学院でも自己点検評価を実施公表したところです。

今年度は実践的な職業教育取り組んできた本学院においても、更なる教育の質保証および向上を目的として、自己点検評価をもとに学校関係者による評価を実施することにいたしました。関係団体、行政、大学、企業関係などの分野の第一線で活躍されている先生方に委員をお願いし、学校関係評価を実施いたしました。

今回の評価を真摯に受け止め、職員一同今後とも業界と地域の期待に応えられる学校運営に努める所存です。

今後とも、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年7月

学校法人昭徳学園九州動物学院

１学校関係評価の実施方法

本学院が学校関係評価については、平成 30 年度に実施した「学校法人昭徳学園九州動物学院自己点検・評価報告書」について、本学院に関係のある 4 名の評価委員に評価していただいた。

評価の結果については、報告書として取りまとめホームページ上で公開することとした。すでに公開している、「平成 30 年度自己点検・評価報告書」と合わせてご覧ください。

２学校関係評価委員一覧表

名前	所属	任期	種別
藤井　琢磨	総合動物病院デーリー院長	2018 年 9 月 30 日 ～2020 年 9 月 29 日	企業・専門家等 評価委員
芝田　猛	東海大学名誉教授	2018 年 9 月 30 日 ～2020 年 9 月 29 日	専門家等 評価委員
本田　敏裕	アニマル動物病院院長	2019 年 4 月 1 日 ～2021 年 3 月 31 日	専門家等 評価委員
松尾　正直	松尾愛犬訓練学校校長	2018 年 9 月 30 日 ～2020 年 9 月 29 日	企業・専門家等 評価委員
井上　竜一	九州動物学院同窓会幹事	2019 年 4 月 1 日 ～2021 年 3 月 31 日	同窓会 評価委員

３学校関係者評価委員会日程

・令和元年 6 月 14 日（金）13 時 30 分
・九州動物学院第 3 教室

出席委員	職　業	カテゴリー
本田敏裕	アニマル動物病院院長	専門家
芝田　猛	東海大学名誉教授	学識経験者
松尾正直	松尾愛犬訓練学校校長	企業
井上竜一	九州動物学院	同窓会代表

学院参加者
九州動物学院　学院長　　足立國功
同　　副学院長　本田公三

４　評価会議次第

次第
⑴開会
⑵学院長挨拶
・学院長から、学校関係者評価委員会の趣旨と職業実践専門課程についての説明
⑶委嘱状交付
・本田、井上の 3 委員に委嘱状の交付
⑷委員長代理選出
・藤井琢磨先生欠席のため本田委員を代理に選出
⑸学院紹介
・事務局より学院の概要を説明
⑹平成 30 年度自己点検・評価報告

・事務局から「平成 30 年度学校法人昭徳学園九州動物学院自己点検・評価報告書」について説明
⑺報告に関する意見交換
・各評価委員から、自己点検評価及び学院活動全般に対するご意見、ご指導をいただいた。
⑻その他
・今後の予定等
⑼学院長謝辞
⑽閉会

４内　容

自己点検評価で行った各評価項目について、エビデンスとなる資料のもと、学院長から平成 30 年度自己点検評価に基づき学院運営等について説明をした後、各委員から意見を聞いた。

1　教育理念・目標

本田委員
・教育目標・人材育成像を学生に反映させる工夫が欲しい。
井上委員
・定期的な保護者会の実施が必要ではないか。
学院長
・教育目標、理念は常に学生の目に触れるところに掲示し、教職員とも同じ目標であることに意識づけを図りたい。

2　学校運営

芝田委員
・校務分掌の見直しと明確化し改善したらどうか。
・職員会議・部門別会議など実施しているか
学院長
・校務分掌については不明瞭なところがあり、明確化を徹底したい。職員会議も不定期になっているため、毎月定期的に実施し、職員の業務進捗状況の共有を図り意識向上につなげたい。

3　教育活動

井上委員
・関連企業との連携を深め充実した実習体制が必要ではないか。
松尾委員
・学院運営に学生保護者へアンケート調査等を行ったらどうか。
・進級・卒業判定会の基準があるのか
学院長
・実習における関連企業との連携については、全国動物教育協会が「実習ガイドライン」を提示しているため参考とし充実したものとしていきたい。
・アンケート調査もぜひ実施し学生保護者の意見を運営に反映したい。

4　教育成果

本田委員
・教育経験者(担任)になれる職員を入れたらどうか。
・インターンシップの 1 年次に意識づけを徹底したらよいと思う。
学院長
・検討したい。

5　学生支援

井上委員
・学校、保護者、地域とのかかわり方が少ないので増やしてほしい。
・進路・就職に関する支援体制は整備されているが、保護者への周知はできていないのでは。
・保護者向けの学級通信などをつくり、学生の生活の様子が分かるように発信したらどうか。
学院長
・保護者との関わりについては、現在学院活動の紹介報告等を記載した「九動通信」を 2 か月に 1 回発行しているが保護者への提供を検討したい。

6　教育環境

松尾委員
・設備・備品の状況はどうか。
学院長
・毎年設備・備品の充実に向け予算化している。今年度は顕微鏡台の導入予定である。

7学生募集と受入れ

芝田委員
・障がいを持った学生への対応はどうか。
本田委員
・就職先の確保のためにも、獣医師会との連携協力体制が必要なのではないか
学院長。
・障がいを持った学生については、それぞれ各専門家に相談し対応することとしている。また就職について　はハローワークなどの公的機関との連携を進めている。

8　財務

松尾委員
・財務の状況はどうか。
学院長
・厳しい状況が続いているが、今年度は入学者 43 名となったので、収入増とともに教育活動の充実に向け予算化している。

9　法令順守

芝田委員
・自己点検・評価を充実するための工夫はどうか。
・職員と地域の関係はどうか。
学院長
・職員一人一人の意見をボトムアップし充実した教育活動に繋げるため、自己点検評価と学校関係者評価を活用させていただく。
・地域とは熊本地震やボランティア団体 BoX 竜之介が行う「野良猫不妊キャンペーン」に参加し、動物を中心とした関わりを築きつつある。

１０　社会貢献・地域貢献

本田委員
・野良猫不妊キャンペーン素晴らしい取り組みである。
・地域企業への積極的なアプローチも必要ではないか。

学院長
・動物関係のみならず、地域の企業と運営や就職活動について情報を共有し取り組んでいきたい。

１１　国際交流

松尾委員
・どのような状況か
学院長
・海外研修では現地の獣医科大学、看護大学、動物病院、愛護協会などを訪問している。
・海外からの研修視察等が行えるよう体制の準備を図りたい。

・ご意見をいただいた後、各委員に学院施設を視察していただいた。最後に学院長からの謝辞があり閉会した。